

月刊 サンエスウォッチング Vol.16

最新カタログを少し先取り

今年も制作しています・・・

11月2日から開催されるサイクルモードにて発行予定の最新「東京サンエス総合カタログ vol.27」を制作中です。毎年新製品の開発がギリギリになる事も多く、掲載しても発売開始までに長い期間を要して皆様にはご迷惑をお掛けしております。1年一度の印刷物につき、今回そのような新製品には可能な限り発売開始時期情報も入れる予定です。今回は新製品の中から少しだけ抜粋し、先取り情報をお伝えします。発売は概ね2020年の春先になる見込みです。



OnebyESU ワンバイエス



チェンリングやスパイダーが追加

ジェイ・クランクシリーズよりレーシングバイクに乗られる方からの要望があった53x39Tと、小径車にお乗りの方からの要望56x44Tのチェンリング、それに小ギアへの要望PCD110/74のスパイダーが発表されます。

Dixna ディズナ



ラ・クランクにオーバルリングが登場

レース志向ではなく多くのライダーに合うオーバルを…狭小Qファクターにオーバルを…との要望から生まれたラ・クランク向け製品です。

オンロードフラットハンドル始動

ファーストモデルは「速く、カッコ良く」Cafe Racerをイメージ。現在のドロップグラベル傾向と相反するような印象のハンドルです。

Veno ヴェノ



RIDE (ライド) シリーズスタート

まずはステムとハンドル。多様でユニークな形状はE-bikeとの相性も良いデザインとなっています。色んな楽しみ、色んな使い道を想像させてくれるようなシリーズです。

grunge グランジ



アドベンチャー / グラベルにもマッチするサドル

ディズナ アキレスサドルから継承した快適サドルのグランジ ベッセルサドルをベースに、更に幅広いライダーに向けて手を加えたサドルです。センター溝やバンパーなどを工夫しています。

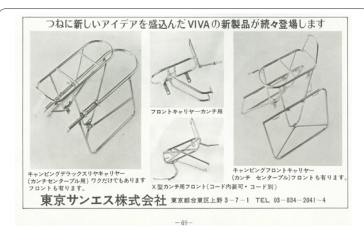
11月2～4日(土,日,月)のサイクルモードでは「東京サンエス(小間番号11-32)」と「ワンバイエス(小間番号11-33)」の横並びで出展します。また隣接の海浜公園でのシクロクロスブースにも出展します。オリジナルを始めとする国内外の新製品、試乗車、女性向けアパレルなどを取り揃える予定です。お帰りには「重さと思いがズッシリの最新サンエスカatalog」をどうぞお持ちかえり下さい。

VIVA

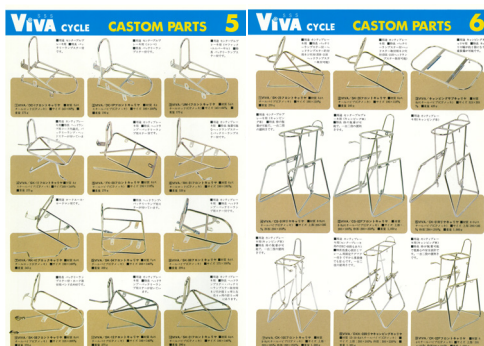
～自転車万歳！！～ (連載コラム：全12回)

【第2回】

東京サンエスのオリジナルブランド第一号「VIVA」。再度訪れた「サイクリングブーム」の1970年代初頭、老舗小売店主さんから「こんな製品があったら良いんだけど作ってくれない？」との相談が寄せられました。「他に当たっても断られちゃって・・・」と。そんな言葉に乗せられて作ったのが最初の製品「フロントキャリア」。前回も書きましたが当時は旅行向けの自転車が主流でフルフェンダーが常識。言ってみれば装着製品が複雑な自転車です。既に他所からフロントキャリアは多数発売されていたのですが高級志向の物が



「ニューサイクリング」1975年4月号 vol.13 No.125 広告ページでは各種キャリアを掲載。その後のVIVAパンフレットでは多くのキャリアがラインナップされています。フロントキャリアから始まった製品開発・・・スタートダッシュの勢いを感じます。



多く、それよりも一般的に購入しやすい気軽さがあって、製品として更に工夫されたものを求められたのです。つまりそれは多様性の付加などの「難しい要望」です。下町の製作所に何とか思いを伝えて出来た製品は、多くのサイクリストに受け入れられ、バリエーションが増えるとともに他のアイテム開発にも伝播して行ったのです。問屋業の東京サンエスのとても狭い事務所は、日夜小売店や製作所の面々が集い、時に朝まで製品開発について語り合う、モノを生み出す突端の現場となって行ったのです。